

# 介護者だより

第5号

(発行所)

大阪狭山市地域ケア会議  
介護者だより編集委員会

〒589-0005  
大阪狭山市狭山一丁目  
862番地の5  
(TEL) 072-368-9922



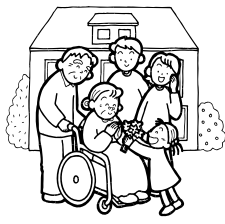
## こんな事が出来る

### よっぴになりました！

今回は、介護が必要になっても、現実と前向きに向き合い、介護サービスを活用して「こんな事が出来るようになりまして」という声を紹介させていただきました。

事故や病気などさまざまな理由で介護が必要になることは決して望むことではないですが、みなさまの希望になればと思います。

### 家族の方からは…



◆ショートステイを利用して、孫の入学・入園式に行けるようになりました。来年が楽しみです。

◆訪問看護を利用してターミナルケアを行いました。最後は自宅で家族全員で看取る事ができました。ありがとうございました。

◆介護の代わりをお願いする人がいなかったため、旅行は無理

### 本人からは…



とあきらめていましたが、ショートステイを利用して、念願の旅行にも行けるようになりました。人生も前向きに両立したいです。

◆親の介護を通じて相手の優しい気持ちが分かり、夫婦仲が良くなりました。

◆他市で母親が、一人暮らしをしています。私自身、母親の世話のために週2回ほど実家に行きます。

最初は介護保険の利用に抵抗があった母親も今ではヘルパーさんを信頼しています。私自身も精神的な負担が軽くなりました。

◆現在、認知症の母親と同居しています。週2回、母親がデイサービスに行っている間、自分の時間が持てるようになり、友人と会う時間ができました。介護保険を利用する前は、母親を一人残して外出することがなかなかできませんでした。介護保険を利用することで、私自身のリフレッシュができるようになったと思っています。

◇腰部脊柱管狭窄症の手術をしました。退院後は、ベッドで寝ている生活が続き、身体の痛み



◇デイサービスで将棋の対戦相手を見つかることで、家に居る時は将棋の本を見るようになりました。

◇膝を骨折しました。訪問でリハビリをしてもらい、膝が曲がるようになりました。あともう少しで買い物に行けそうです。

◇ポータブルトイレで用を足しますが、手すりを利用してズボンの上げ下ろしまで全て自分でできるようになりました。

より精神的不安に押し潰されそうでした。『このままで終わりたいくない。』という思いから、地域包括支援センターに相談しました。デイサービスを利用してリハビリを行うとともに、妻の協力、自宅マンションの玄関前からエレベーターホールまでの歩行訓練にも励みました。また、介護保険の住宅改修により、転倒せずに暮らすことが出来ています。

その結果、5ヶ月後には、もとのように、①ならばで友人とお酒を飲みに行く ②貸農園での野菜づくりを再開する ③苦勞をかけた妻のために朝食を作るといふ、目標を達成することができました。

その後は、市の筋力トレーニング教室に3ヶ月(計25回)休まず通いました。その甲斐あって応援している高校野球観戦のため、約2時間強をかけて電車を乗り継ぎ、球場で優勝を見届けることができ嬉しく思っています。

◆企業戦士として、昭和の激動期を妻とともに、乗り越えました。

妻と一緒に暮らし続けることが今の目標です。そのために、娘の勧めで、デイサービス(水中運動)とヘルパーを利用して

ヘルパーさんには、食事づくりや洗濯の仕方を教えてもらい、デイサービスでは、体力づくりをしています。おかげで、任せきりであった家事を妻と一緒にできるようにしました。

九十一歳の現在、『60の手習い』ならぬ『90の手習い』を娘や息子、孫たちが応援してくれています。

### 介護体験④

### 『外出心待ちにされて…』

仕事の帰り道、四肢麻痺の50歳ぐらいの男性がお客様と自宅近くで散歩をしておられ、福祉サービスのお話をさせて頂く機会を得ました。

数カ月後、移動支援サービスの依頼があり訪問すると、偶然にもその方のお宅でした。言葉の障がいもありコミュニケーションは身振り手振りで行います。初回利用時は自宅周辺を散歩しました。ご本人さんは、とても喜んで下さいました。最近では、デイスカウトショップで買い物したり、たこ焼きを召し上がられたりと楽しんでおられます。また、ショートステイをご利用された時のことを、身振り手振りで、楽しそうに伝えて下さいます。

今では訪問日の連絡が遅いと待ちきれず、「次、何時か聞いて？とせがまれて」と事務所にお客様から電話が入り、電話口にご本人に出て頂き、日時を直接お伝えしました。

これからも他の福祉サービスの方々と連携を図りながら、在宅生活が、楽しいものになるように支援していきたいです

※障害者自立支援法を利用した方の事例です。



### 編集後記

地域ケア会議では、平成21年1月22日(木)に福祉センターさつき荘で、「新春介護者家族の集い」を開催しました。

今回の介護者家族の集いには、10名の方が参加されました。参加者の中には、認知症のお母様を介護されている方や、病気の奥様を介護されている方などさまざまな状況の方がいらっしゃいました。

介護の苦労話やリフレッシュの仕方など、活発な意見交換が行われました。参加された方から、「参加してよかった」、「また開催してほしい」といった声がたくさん寄せられました。

今回の介護者家族の集いに参加して、家族によっては認知についてのとらえ方にまだまだ差があるように感じました。「介護者だより」を通じて、認知症の理解を広めていきたいと思っております。

「介護者だより」がみなさんのご期待に添えられるよう、一杯努力していきたいと編集委員一同考えています。平成21年度も引き続き、「介護者だより」をよろしく願います。

